

平成28年2級建築施工管理 実地試験(学科記述問題)

問題2 次の建築工事に関する用語のうちから5つ選び、その用語の説明と施工上留意すべき内容を具体的に記述しなさい。
ただし、仮設以外の用語については、作業上の安全に関する記述は不可とする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

足場の手すり先行工法
金属製建具のかぶせ工法
軽量鉄骨壁下地の振れ止め
コンクリート壁の誘発目地
タイルカーペット
鉄筋の先組み工法
溶接のアンダーカット

型枠はく離剤
クレセント
鋼矢板
先送りモルタル
超高圧水によるコンクリート面下地処理
マスキングテープ
ローリングタワー

答え---足場の手すり先行工法型

用語の説明：足場を組み立てる際に手すりを先に取付、その後には枠を組立ることによって足場組立時の墜落事故を予防できる。

留意内容：組立範囲、計画を作業員に周知徹底し、手すりが先行出来ない作業床及び手すりを取り外された箇所へ乗ってはならない旨の徹底。

答え---枠はく離剤

用語の説明：型枠表面に塗布して、コンクリートが型枠表面に固着するのを防ぎ、取り外しを容易にするとともに、表面の美観を向上させる

留意内容：塗布するに当たり均等に過不足なく塗布する。

答え---金属製建具のかぶせ工法

用語の説明：既存のサッシ枠を利用し新規サッシに改装するもので、カバー工法、持ち出し工法、等があり工期が短縮できる。

留意内容：施工に当たり既存サッシの劣化状況を確認して適切な施工計画を立てて施工する。

答え---クレセント

用語の説明：引き違い、片引きサッシや上げ下げ窓の召合に取りつける締め金物。

留意内容：操作時に無理なく開閉することができ、適切な締め付け力を保持できるように取りつける。使用時に不具合が生じないように取り付け精度をよく確認する。

この過去問は受講者専用のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>